

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第26号 平成26年10月12日

光希の好投にチームが応えられず!

再三のチャンスにまたもや1本出ず・・・

	1	2	3	4	5	6	特	R
Y	0	0	0	0	0	0	2	2
G	0	0	0	0	0	0	1	1



10/12(日)三ツ沢公園野球場にて、BEST4を掛け、ユーマスと準決勝を行った。今日のマウンドも前節同様、光希が上がりブレイボール。その立ち上がりは、7球を投じたが、先頭を見逃三、次打者は空三振に斬る上々の発進、しかし、3番に死球、が崩れる事なく、4番を凡打に斬り初回を終える。2回には、1安打を喫すも祐太郎の好守備でまたもや2塁踏まらず。3回にも2個目の死球を与えたが、見逃三を含めた凡打で依然三塁踏まらず。そしてその裏、ビッグチャンスが訪れる。この回先頭は中飛で一死となるが、次打者祐介が野手失策で出塁、その後二盗を決め、チャンスを広げた。先頭哲也も四球を選択、WPと盗塁でそれぞれ進塁し、二番に繋げる。ここで打者の打球は野手正面の内野ゴロ、懸命にホームを目指したが、打球が正面過ぎ、無残にもホームアウト、しかし、まだチャンスが。3番祐太郎が死球で出塁すると、二死ながら満塁となった。ここで打席には昌平が入り、ベンチはそのバットに期待を寄せた。が、強い打球だが、これまた野手の正面に行き、この回のチャンスを逸した。チャンスの後にはピンチが来るが、そんなジックスを寄せ付けない、今日の光希のピッチング。そして、その裏の4回にまたもやチャンスが。この回先頭の棚川がこれまた野手の失策で出塁、そして、次打者暢造が右前に運び続く。後続が倒れ一死となったが、次打者深沢が死球で出塁すると一死満塁となった。しかし、後続2打者が凡打に倒れ、2回連続のチャンスを無にしてしまった。が、こんなことでは今日の光希は崩れない。先頭に今日3個目の死球を与え、その後犠打で進塁を許し、スコアリングポジションに走者を進めたが、後続2打者を三振に斬り、この回もピシヤリと抑える。さすがに、野球の神様ももうチャンスを与えてはくれなかった。結果光希は6回を投げ被安打1、奪三振6、三塁踏まらずという好投を見せたが、打線が見殺しにしてしまった。

そして、特別回のサドンデスを一死満塁とし、7回を迎えた。その初球、完全に討ち取った打球であったが、遊撃とセンターの間にぼとりと落ち、先制を許した。後続を三振に斬り二死としたが、次打者に今日初の四球を与え、押し出して2点目。次打者をまたもや三振に斬り、その裏のチームの攻撃に繋げた。しかし、二死から哲也が維持の一発で1点を上げたが、後続が倒れ万事休す。準決勝進出の夢を絶たれた。

今日は完全に打線とベンチが敗因。打線は個々人の技量にもよるところであるが、我がチームは得点を上げると一気にエンジンに火がつく打線。従って、何が何でも先制が必要であったが、個の技量に委ねてしまった。何かを仕掛けるのも得点を上げる手段の一つ。特に4回に関しては、一死満塁で有ったので、この結果はやや悔やまれる内容である。その為にはベンチの思いを打者が履行出来るように普段からの練習が必要、それがお互いの信頼につながるものと思う。が、結果は敗戦となったが、いつもの敗戦後の雰囲気チームに無かった事が大きな収穫。しかし、再三ゲームを押しして頂けに、この悔しさを是非来期に繋げるこれからが重要なので、次節の大会でこの悔しさが内容に改めてチーム一丸で戦おう！それにしても、棚川のヘッドダイビングはチームに元気を与えてくれた・・・